

四谷大塚	5年							
	算数							
学習内容	夏期講習　比の表し方　比例式と逆比　相似 底辺の比と面積比　通過算と時計算　流水算 素因数分解　物体をしずめる問題　など							
家庭学習 ポイント	夏期講習会では、5年生の算数において最重要単元の1つである「比」の学習にかなりのウェイトがおかれています。基本的な比の概念に始まり、比例式、連比、逆比など基礎知識を習得し、相似や面積比など比を活用した図形の問題まで学習するカリキュラムになっています。またもう一つの最重要分野である速さについては、通過算や流水算、時計算などやや特殊な速さの文章題を学習します。これら3つの特殊算に共通するのは「それぞれの文章題の応じた図を書いて整理して解く」ということです。通過算ではすれ違う（追い越す）列車の図を、流水算では「上り・下り・静水上・流速」の4つの速さを書き出して状況図を、そして時計算では（かんたんな問題に見えても）時計の図を書いて、短針と長針の間の角度の大きさ、「何度追いつくのか」を確かめることなど「定番」ではありますがつつい「端折ってしまいがち」な部分をいかに面倒がらずに書くかがポイントです。「夏期講習会で習った単元は既習扱いとする」という塾のアナウンスもしっかり理解して取り組む必要がありますね。							
課題の把握と解決策	チェック1	比のしくみ、概念を正しく理解できていますか？						チェック
	解決策	理解が進まない場合は分数、約数、倍数、割合などの理解度をチェックしてみましょう						□
	チェック2	相似比と面積比の関係を正確に理解していますか？						チェック
	解決策	「相似比」と「底辺と面積の比」の違いを正しく説明できるようにすることが大切です						□
	チェック3	通過算や流水算、時計算などで図を書いて考えていますか？						チェック
	解決策	「簡単そうだから」と端折るとミスの元となります						□
	チェック4	物体をしずめる問題では、つねに正面から見た図を書いて考えていますか？						チェック
	解決策	余分な情報を省いてシンプルに考える工夫を心がけましょう						□
	チェック5	夏期講習の学習サイクルがうまくまわっていますか？						チェック
	解決策	かなりタイトなカリキュラムです。その日のうちに復習、を心がけましょう						□
四谷大塚	5年							
	国語							
学習内容	夏期講習　物語・小説・説明文・論説文など							
家庭学習 ポイント	夏期講習は物語・小説・説明文・論説文などの読解が中心になります。「要約力を付ける」というのがひとつの大きなテーマになります。1学期からの学習テーマとして「文種ごとの読解法を身につける」がありますが、夏期講習でも引き続き読解法について学習していきます。物語文、小説では場面の変化や情景描写から登場人物の心情を読み取ること、説明文・論説文では文章の「テーマ」を読み取ること、具体例と筆者の考えを読み分ける（具体的に文章中に印などを残して仕分けする）などです。習ったものの、実はテストで意識的に使うことはできていない（漫然と読んで設問に取り組んでしまっている）というお子さんは多く、そのような勉強が続いてしまうと国語の成績は伸び悩みます。ぜひこの夏、学んだ読解法を積極的に「使う」ということを意識して取り組んでみてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	物語文の読解において登場人物の心情を正しく読み取れていますか？						チェック
	解決策	場面の変化、情景描写の変化などに注目しましょう						□
	チェック2	「説明文・論説文の読解のポイントは事実と意見の読み分け」が身につけてきましたか？						チェック
	解決策	この夏、特に意識して取り組んでみましょう						□
	チェック3	「具体と抽象」が感覚的にわかってきていますか						チェック
	解決策	具体⇒抽象ならべ「チワワ⇒犬⇒哺乳類⇒脊椎動物」といったゲームなどで練習してみましょう						□
	チェック4	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？						チェック
	解決策	夏も語彙や漢字などの「ルーティン」の勉強は欠かさず続けましょう						□
	チェック5	夏期講習の復習サイクルが良好に「まわって」いますか？						チェック
	解決策	ターム終了後との1日の休みを大切に、ピンポイントで復習を入れていきましょう						□

四谷大塚	5年							
	理科							
学習内容	夏期講習 植物のつくりとはたらき もののあたたまり方 月の満ち欠け てんびんとばね 生物のつながり・ばねと浮力・電流と抵抗・電流と磁界・水溶液の性質・大地の変化・音と光・地球と太陽 など							
家庭学習ポイント	夏期講習会では「4日連続授業＋1日休み」といったサイクルで授業が続いていきますから,ふだんの「一週間で1単元」にくらべると何倍ものスピードでカリキュラムが進みます。既習単元に加えて予習単元も入ってくるので、ターム間の1日の休みとお盆休みを大切にしたいですね。「植物のつくり」や「月の満ち欠け」などは覚えることも多く、理科自体に興味の薄いお子さんにはつらいところですよ。暗記分野の苦手なものについては、まずは丸覚えしないといけないものとそうでないものの「仕分け」を考えてみましょう。「植物のつくり」であれば双子葉植物と単子葉植物の違いを理解すること、また単子葉植物がイネ科やユリ科など（少なくとも受験勉強で扱うものについては）限られたものであることを理解すれば「単子葉植物を中心に覚えておけば整理しやすい」という視点が生まれます。また「月の満ち欠け」に関しても形を覚えるのではなく、地球のまわりを公転する月のようすを理解し、自分で作図できるようになれば、結果として形は導き出せることがわかります。苦手なものはつつい遠ざけがちになり、せっかくの気付きが得られない状況になりがちです。ぜひ夏の学習で乗り越える経験をしてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	双子葉植物と単子葉植物を整理して記憶できていますか？						チェック
	解決策	上記と「有胚乳種子と無胚乳種子」を関連させて整理できればベストです						□
	チェック2	月の満ち欠けの問題では、自分で図を書いて考えていますか？						チェック
	解決策	「覚える」という作業を極限まで減らすには「考える」方向にもっていくことです						□
	チェック3	力学の問題では、かかる力を矢印で図に書き込んで考えていますか？						チェック
	解決策	ミスを防ぐ工夫の1つですね						□
	チェック4	電流・電圧・電気抵抗の「イメージ」が持てていますか？						チェック
	解決策	「電流＝水の流れ・電圧＝水を押し出すポンプ・電気抵抗＝水の流れを妨げるポイント」など						□
	チェック5	夏の学習について、できていることとそうでないことの仕分けはできていますか？						チェック
解決策	夏の間に完璧に、は無理でも、把握しておくことは大切です						□	
四谷大塚	5年							
	社会							
学習内容	夏期講習 日本の食糧生産 エネルギーと工業・輸送機関・地方別地理・公民分野・歴史分野の導入 など							
家庭学習ポイント	夏期講習が始まります。夏期講習では日本の食糧生産 エネルギーと工業・輸送機関などを学習したあと、日本の地方別地理を再度復習し、地理分野の総仕上げとなります。9月からは歴史の学習が始まり、5年生の終わりまで歴史一色の学習になります。夏の学習までで地理の知識をしっかりと仕上げておきたいですね。夏期講習では昨今の国際情勢なども踏まえ、日本と結びつきの強い国についても学習します。9月からの歴史学習の導入として「歴史のものさし」も扱われます。あくまでメインは地理の総仕上げですが、ここからほぼ半年間、地理分野が授業で扱われる機会がないということは、特に苦手なお子さんはこの夏の間になんとしても苦手意識を払拭し、ある程度の知識の厚みをつけておきたいところです。夏期講習の学習と並行し、自分なりに1学期の学習（場合によっては4年生の予習シリーズ）の復習を進めておくのが良さそうですね							
課題の把握と解決策	チェック1	地理の学習の「スタイル」が身についたと実感していますか？						チェック
	解決策	地図帳、白地図を併用し、山地や平野、海流など自然環境を立体的に理解しましょう						□
	チェック2	各地方の産業と地形、自然環境などを関連付けて学んでいますか？						チェック
	解決策	人々の暮らし、産業なども特有の地形や自然環境の影響を受けていると考える習慣を						□
	チェック3	ターム終了ごとの休日を有効に使えていますか？						チェック
	解決策	休息、そしてこれまでの講習会の振り返りの機会として有効に使いましょう						□
	チェック4	明らかに「苦手」という分野、単元ができていませんか？						チェック
	解決策	当該箇所の夏期講習授業の前に、4年生、5年生上のテキストで「予習」してみましょう						□
	チェック5	9月からあと、5年生ではもう地理の学習がないことを把握していますか？						チェック
解決策	この夏、しっかり知識を完成させておきたいですね						□	